

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和3年度・第2次筆記試験】 事例Ⅲ（生産・技術戦略）

この模範解答例は  
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点20点）

（a）強み（40字以内）

高収益な自社ブランド製品と一人で製品の全体縫製を行う熟練職人を有することである。  
（40字）

（b）弱み（40字以内）

生産計画の精度の低さによる過剰生産や欠品・過剰在庫の発生と熟練職人の高齢化である。  
（41字）

第2問（配点30点）

（a）課題（20字以内）

受注量に応じた適切な生産計画の策定である。  
（21字）

（a）課題（20字以内）

資材欠品が生じない在庫管理の確立である。  
（20字）

（b）対応策（80字以内）

生産計画を毎週見直すことで、小ロット化や受注内容の変動・特急品の割り込みに対応した適正なロットサイズでの生産を行い、過剰生産による余剰在庫を削減することである。  
（80字）

（b）対応策（80字以内）

発注から納品までの期間が長い資材の調達にダブルビン方式を採用する。適正な安全在庫量を算定し資材を常時確保することで、欠品による生産計画の変更を防ぐことである。  
（79字）

第3問（配点20点）（120字以内）

課題は、製品企画面：デザイン学校の生徒の採用や社員のデザイン学校への派遣により製品デザイン部門を強化すること、生産面：段階的かつ計画的なOJTにより、一人でバッグを製品化できる製造全体の技術習熟を熟練職人から若手職人へ伝授することである。  
（119字）

第4問（配点30点）（140字以内）

熟練職人の手作りで高級感を出すことを選択する。とるべき対応は、①熟練職人による丁寧な手作業の製品を販売後の修理も行うことで、「永く愛着を持って使えるバッグ」として顧客に訴求すること、②小売店やオンライン販売情報の活用で需要予測精度の向上を図り、欠品や過剰在庫の発生を防ぐことである。  
（141字）

文責：AAS名古屋 鷺山 はるこ